

# 森づくり最前線

茨城森林管理署

磯原森林事務所

森林官 田川 将昭

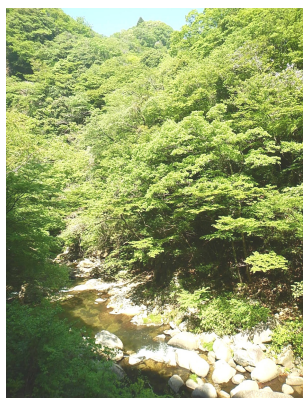


ニツ島

私が勤務している磯原森林事務所は、茨城県北東部に位置する北茨城市、高萩市の一部を合わせた約2,800haの国有林を管理しています。

北茨城市は名勝も多く、入り江や断崖絶壁の続く五浦海岸、常磐炭田、ニツ島、五浦温泉などがあり、特殊な地質や自然・歴史を学習するためのジオパークの整備も進められています。

管轄する国有林の大部分は花園花貫県立自然公園に指定され、山地から海岸林に至るまで様々な自然環境を有しています。



新緑の大北溪谷

国有林は、住宅や道路などに接する場所も多いため、色々な意味で住民との関わりが濃い地域です。事務所に電話等で直接呼び出しがあることも時々ありますが、日々森林をパトロールする中で、民有地と国有林の境に異状がないか、不法投棄された粗大ゴミや車などはないか、林地の状況を見ながら伐採は可能か、搬出ルートは大丈夫か、今後の造林や必要な森林施業は何か、などなど、色々考えながら確認し、メモや写真等を取りつつ林内を歩くようにしています。

管内の国有林では、伐採搬出から地拵え、植付等の一連の作業を同じ契約者が行う「一貫作業システム」や「コンテナ苗の導入」、国有林と民有林が協調して間伐を行う「公益的機能維持増進協定」による取組が行われています。



一貫作業システム

また、森林技術支援センターや森林総合研究所と共同して行う各種試験地も設定されるなど、先導的な取組が行われています。

近年、全国的にニホンジカによる被害が拡大傾向にあります。こと茨城県に於いては古くから狩猟が盛んであったことなどから遠い昔にシカは絶滅しており、それ以降現在までシカによる被害とは無縁の環境でした。ところが最近、「県境からシカが入ってきている！」という目撃情報や定点カメラによる撮影画像などが時々見られるようになって来ており、収穫量と同時に増え続ける造林地を抱え、少々不安を感じているところではあります。



イカル(鶇)

約2.3cm。口笛で短いメロディをくり返すのが特徴。黄色い大のくちばりは木の実に割ると役立つ。



麓から見た管内の山々

磯原森林事務所は花園森林事務所との合同事務所となっています。隣の席にもう一人森林官がいますので、わからないことや気になった事など気軽に相談できるため、とても助かっています。

今後も国有林の中で何が求められているのか、自分には何ができるのか等を考えながら仕事をしたいと思っています。